

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	城東区
学 校 名	大阪市立成育小学校
学校長名	井上 修

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立成育小学校では、第6学年 110名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科と算数科の両教科とも、平均正答率が大阪市平均及び全国平均を上回る結果となった。また、平均無回答率も、両教科ともに大阪市平均及び全国平均より大幅に低くなっており、回答に対する意欲がうかがえる。両教科とも無回答率が1%未満で、大阪市平均及び全国平均の1/3～1/5の割合となっている。

学習指導要領の内容・領域別正答率を見ると、両教科ともほぼ全ての領域（国語科：6内容中5内容、算数科全4領域）で平均正答率が大阪市平均及び全国平均を上回っている。特に算数科「C変化と関係」は、大阪市平均及び全国平均を8～9%上回っている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

正答率50%以下は全体の18.1%で、大阪市平均27.3%、全国平均24.6%と比べ、低く抑えられている。「C読むこと」の平均正答率は、大阪市平均より4.1%、全国平均より3.5%上回っている。しかし、「A話すこと・聞くこと」の平均正答率は、大阪市平均より4.1%上回っているが、全国平均より0.4%下回っている。

〔算数〕

正答率50%以下は全体の29.9%で、大阪市平均33.7%、全国平均32.5%と比べ、低く抑えられている。「A数と計算」「B図形」の平均正答率は、共に70%を超えている。また、「C変化と関係」の平均正答率も、大阪市平均よりも9.2%、全国平均よりも3.2%上回っている。

質問調査より

昨年度は全て全国平均・大阪市平均を上回っていた4つの質問、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」「学校に行くのは楽しいと思いますか」「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」に対して、肯定的に回答する割合が、今年度は全て全国平均・大阪市平均に届かなかった。特に、「学校に行くのは楽しいと思う」は80%未満であった。また、昨年度は100%だった「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」は95.5%であった。

これまで本校の児童は、規則正しい生活を送り、学校生活を安心して楽しく過ごしていたが、少し様子が変わっていることが分かる。

今後の取組(アクションプラン)

今年度も「主体的・対話的で深い学び」ができることを目標に、全学年で授業を実施している。特に「効果的な対話」に重点を置き、昨年度と同様、国語科を研究教科として、児童が対話を通して自己の考えを広げたり深めたりできるように、教員の授業力向上に引き続き日々取り組んでいく。そのために、授業研究会や学力向上支援チーム事業を活用し、思考力・判断力・表現力の向上につなげる。

児童質問紙で課題の見た4つの質問に関しては、昨年度までの児童の様子（規則正しい生活を送り、学校生活を安心して楽しく過ごす）に戻す必要がある。そのためにも、学校では仲間やいじめについての取り組みをさらに充実させるとともに、規則正しい生活習慣や家庭学習についても家庭と連携して取り組んでいく。

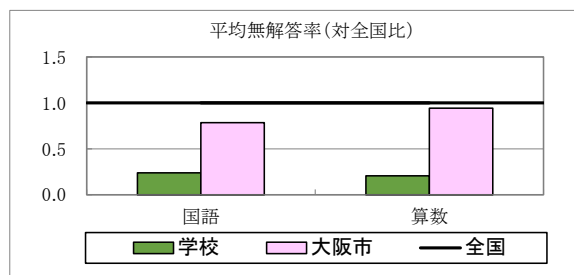
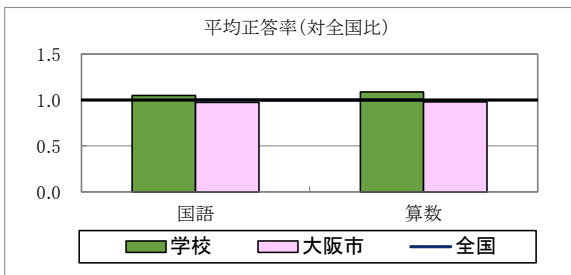
【 全体の概要 】

平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	71	69
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4

平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	1.0	0.7
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4



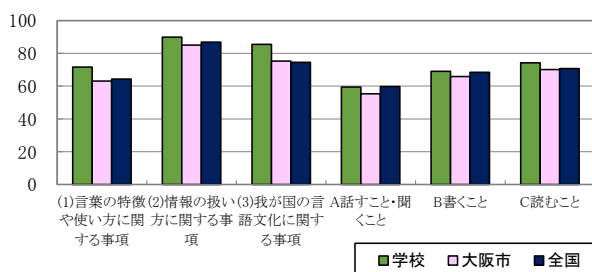
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	4	71.6	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	90.0	85.0	86.9
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	85.5	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	59.4	55.3	59.8
B 書くこと	2	69.1	65.9	68.4
C 読むこと	3	74.2	70.1	70.7

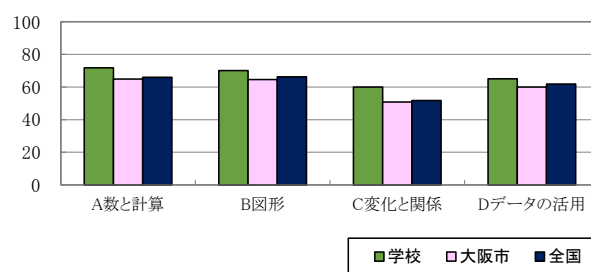
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	71.8	64.8	66.0
B 図形	4	70.0	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	60.0	50.8	51.7
D データの活用	4	65.0	60.0	61.8

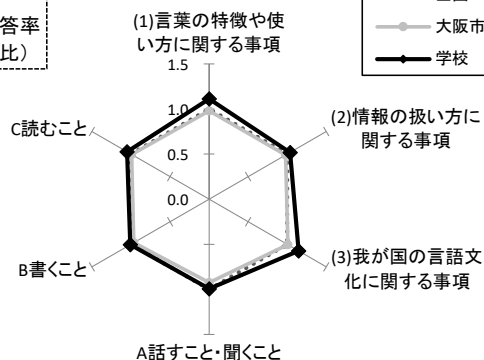
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



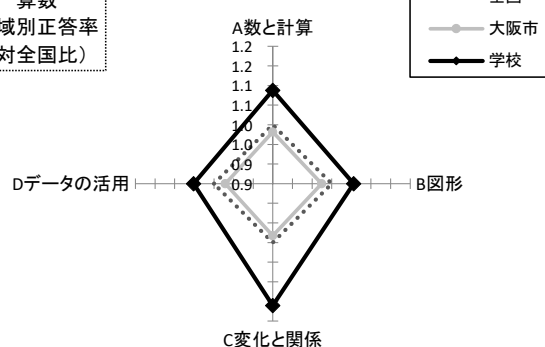
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)



算数
領域別正答率
(対全国比)



児童質問より

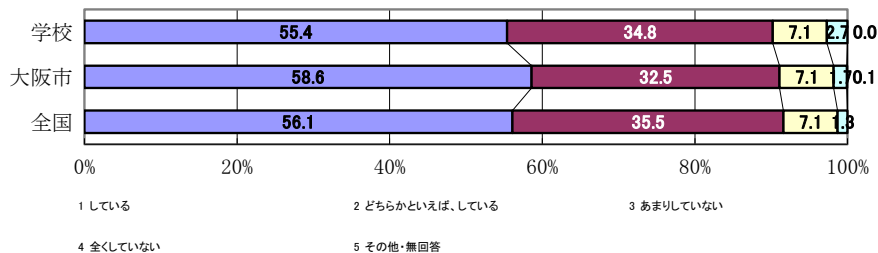
質問番号

質問事項

3

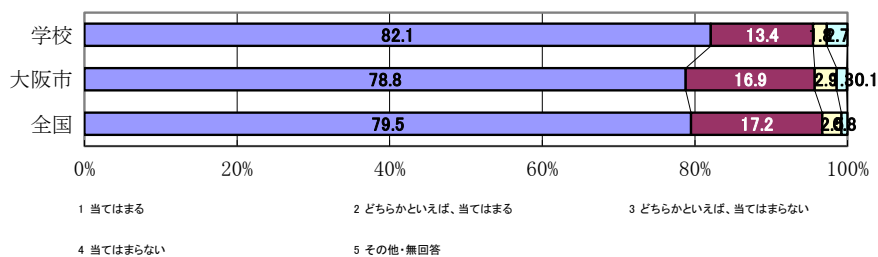
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

1 2 3 4 5 6 7 8



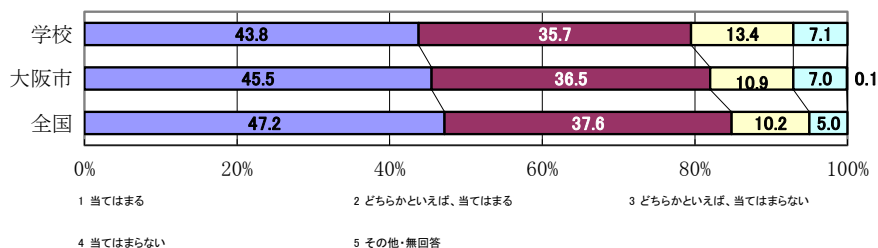
13

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



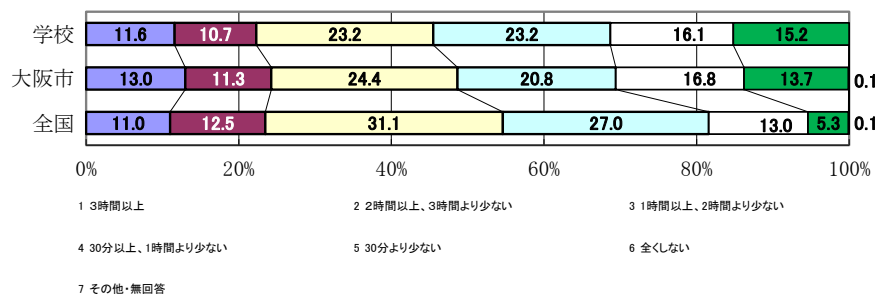
16

学校に行くのは楽しいと思いますか



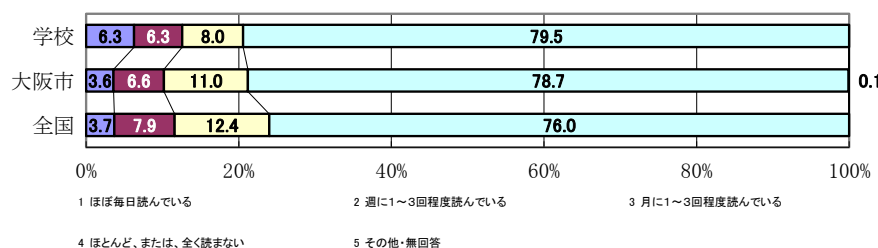
21

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



24

新聞を読んでいますか



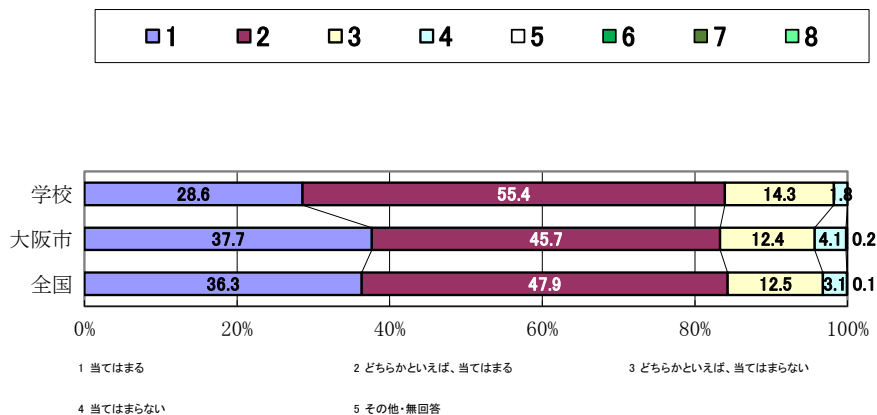
児童質問より

質問番号

質問事項

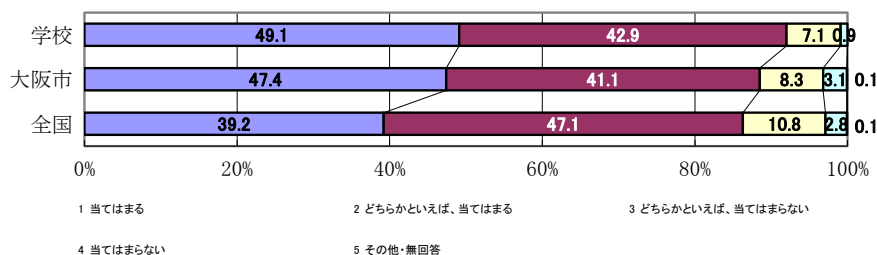
39

あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか



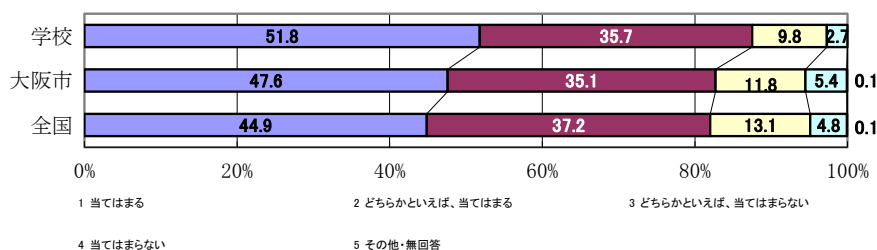
44

国語の授業の内容はよく分かりますか



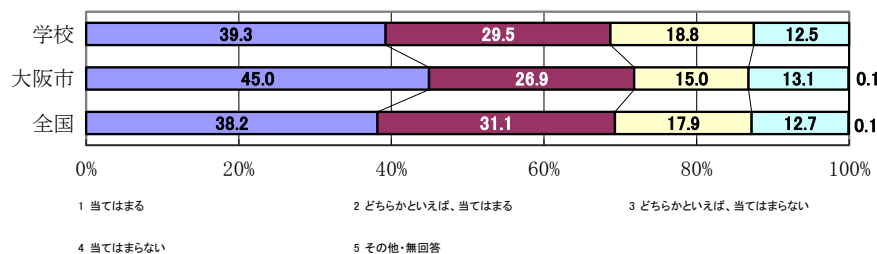
52

算数の授業の内容はよく分かりますか



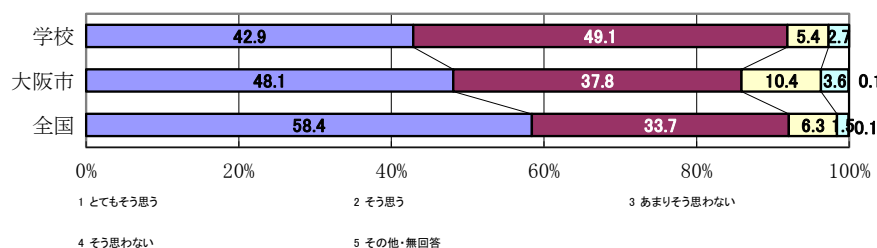
61

英語の勉強は好きですか



69

(5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか) 分からないことがあった時に、すぐ調べることができる



学校質問より

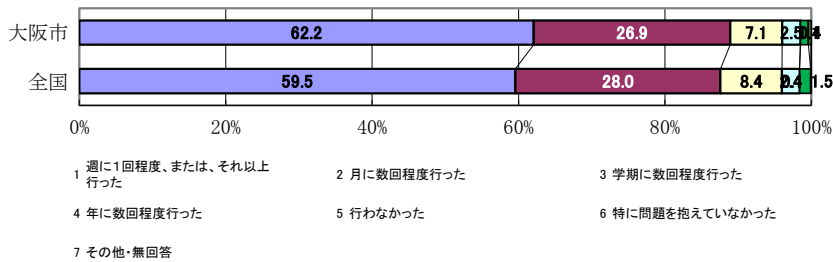
質問番号

質問事項

10

前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか

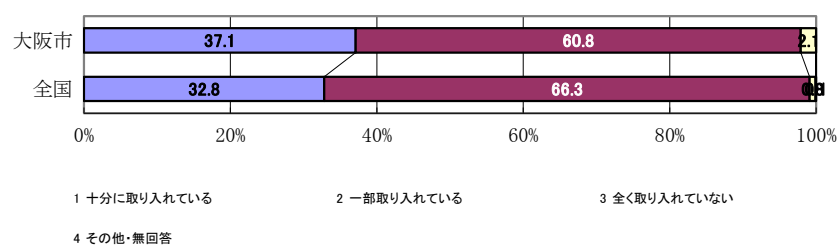
学校 「週に1回程度、または、それ以上行った」を選択



11

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

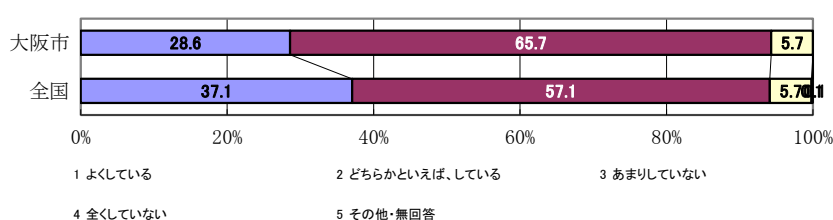
学校 「十分に取り入れている」を選択



37

調査対象学年の児童に対して、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか

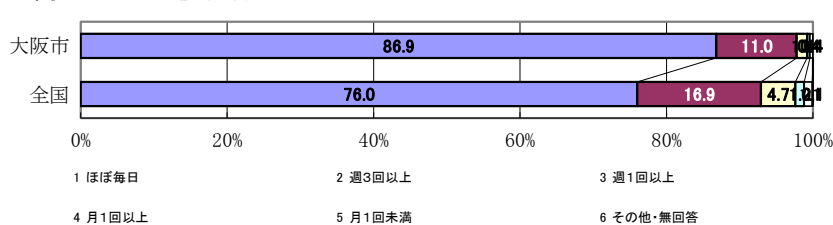
学校 「どちらかといえば、している」を選択



53

前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択



56

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

学校 「」を選択

